

HD-TVI 2MP フルハイビジョン 超低照度 赤外線搭載 ドームカメラ
(ワンケーブルタイプ) ユーザーマニュアル



**HD-TVI 2MP フルハイビジョン
超低照度 赤外線搭載
ドームカメラ
(ワンケーブルタイプ)**

ユーザーマニュアル

UD05334B

私たちの製品を購入していただきありがとうございます。ご質問やご要望がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

このマニュアルに技術的に不正確な点や印刷上の問題がある場合があります。内容は通知なしに変更される可能性があります。更新はこのマニュアルの改版時に追加されます。弊社では、マニュアルに記載された製品や手順は迅速に改善、更新していきます。

このマニュアルは、以下のモデルに適用されます。

タイプ	モデル
タイプ I (電動 VF/屋外用)	GJ-FH56VF-IROZC
タイプ II (電動 VF/屋内用)	GJ-FH56VF-IRZC
タイプ III (固定レンズ/屋内外用)	GJ-FH56FX-IRZC

免責事項

アンダーライターズ・ラボラトリーズ・インクは、本製品のセキュリティまたはシグナリングに関するパフォーマンスや信頼性をテストしていません。UL は、UI の標準安全規格 UL60950-1 に記載されているように、火災、衝撃、または災害の危険をテストしています。UL 認定は、本製品のセキュリティまたはシグナリングの側面のパフォーマンスまたは信頼性をカバーしていません。UL は、010000104603 に関するいかなる表明、保証、または証明もしません。
この製品のセキュリティまたはシグナリング関連機能のパフォーマンスまたは信頼性。

規制情報

FCC 情報

FCC 準拠: この装置はテスト済みであり、FCC ルール パート 15 に規定され、クラス A デジタルデバイスの制限に準拠していることが判明しました。これらの制限は、商業環境で装置を運用する際に、有害な干渉に対して適切な保護を提供するように設計されています。この装置は電波を発生または使用し、無線周波数エネルギーを放射する可能性があり、取扱説明書に従って設置および使用しなかった場合、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。住宅地域でこの装置を運用する場合、有害な干渉を引き起こす可能性があり、その場合はユーザ側の負担で干渉に対処する必要があります。

FCC 条件

このデバイスは、FCC ルール パート 15 に準拠しています。運用は以下の 2 つの条件に従うものとします。

1. このデバイスが有害な干渉を引き起こす可能性がない。
2. このデバイスは、望ましくない動作の原因となる干渉を含め、受信した干渉を受け入れなければなりません。

EU 適合宣言



本製品および -該当する場合- 付属品は、“CE” のマークが付いており、EMC 指令 2014/30/EU、LVD 指令 2014/35 / EU、RoHS 指令 2011/65/EU の下に記載されている該当欧州統一規格に準拠しています。



2012/19/EU (WEEE 指令): この記号が付いている製品は、欧州連合 (EU) の地方自治体の未分別廃棄物として処分できません。適切にリサイクルするために、本製品は同等の新しい装置を購入する際に、お近くの販売業者に返却いただくか、指定された収集場所で処分してください。詳細については次の URL を参照してください。

www.recyclethis.info



2006/66/EC (バッテリー指令): 本製品には、欧州連合 (EU) の地方自治体の未分別廃棄物として処分できないバッテリーが含まれています。特殊バッテリー情報に関する製品資料をご覧ください。バッテリーにはこの記号が付いており、カドミウム (Cd)、鉛 (Pb)、水銀 (Hg) を示す文字も記載されています。適切にリサイクルするために、販売業者か、指定された収集場所にご返却ください。詳細については次の URL を参照してください。

www.recyclethis.info

カナダ産業省 ICES-003 準拠

本デバイスは CAN ICES-3 (A)/NMB-3(A) の規格要件を満たしています。

内容

第 1 章 はじめに	5
1.1 製品の特徴	5
1.2 概要	6
1.2.1 タイプ I ドームカメラの概要	6
1.2.2 タイプ II ドームカメラの概要	7
1.2.3 タイプ III ドームカメラの概要	7
第 2 章 インストール	8
2.1 タイプ I カメラとタイプ II カメラの天井への取り付け	9
2.2 タイプ III カメラの天井への取り付け	12
2.3 タイプ I カメラとタイプ II カメラの壁取り付け	15
2.4 インシーリング取り付け	17
2.5 タイプ I カメラの傾いたベースによる取り付け	19
第 3 章 メニュー説明	19
3.1 フォーマット	22
3.2 言語	22
3.3 フォーカス	22
3.4 メインメニュー	22
3.4.1 AE (自動露出)	22
3.4.2 WB (ホワイトバランス)	23
3.4.3 デイナイト	24
3.4.4 VIDEO SETTING	24
3.4.5 FUNC (機能)	25
3.4.6 リセット	27
3.4.7 SAVE & EXIT	27

第1章 はじめに

1.1 製品の特徴

カメラは屋内と屋外の両方に適用され、アプリケーションシナリオには道路、倉庫、地下駐車場、バーなどが含まれます。

主な機能は次のとおりです。

- 高性能 CMOS センサー
- 低照度、0.005 Lux @(F 1.8、AGC ON)、IR 付き 0 Lux
- オートスイッチ付 IR カットフィルタ
- OSD メニュー、パラメータは設定可能です。
- オートホワイトバランス
- 内部同期
- スマート IR モード
- PoC(with-E)
- 3 軸調整

注意:

タイプ II カメラは屋内でのみ使用できます。

1.2 概要

始める前に:

デバイスのケーブルは、モデルによって異なります。

各タイプのケーブルを下図に示します。実際のサンプルを参照してください。

補助 HD TVI ケーブルを補助ビデオ出力に接続することにより、カメラをデバッグすることができます。

1.2.1 タイプ I ドームカメラの概要

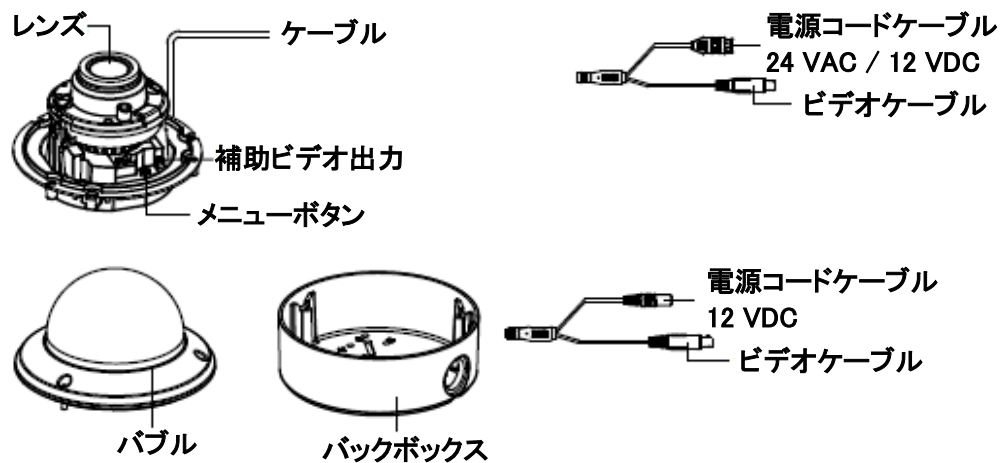


図 1-1 タイプ I ドームカメラの概要

1.2.2 タイプⅡドームカメラの概要

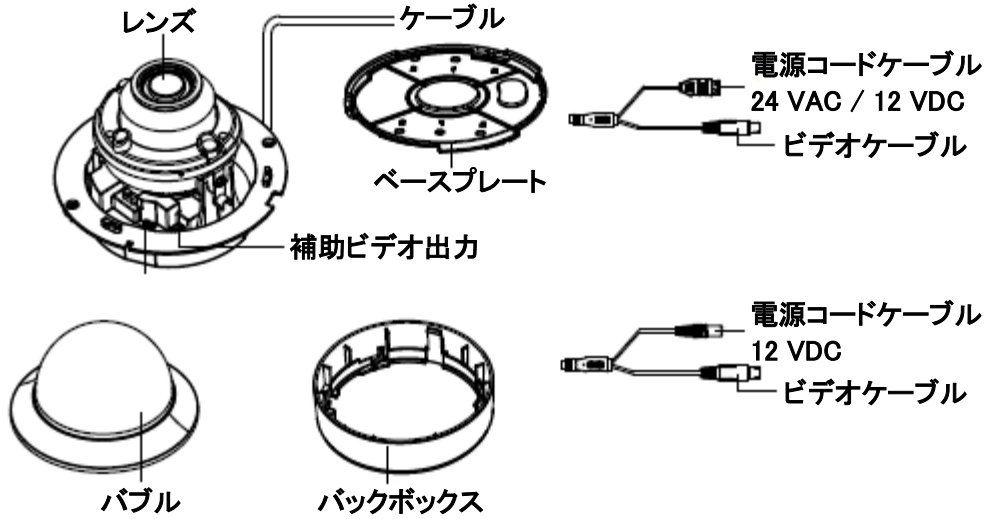


図 1-2 タイプⅡドームカメラの概要

1.2.3 タイプⅢドームカメラの概要

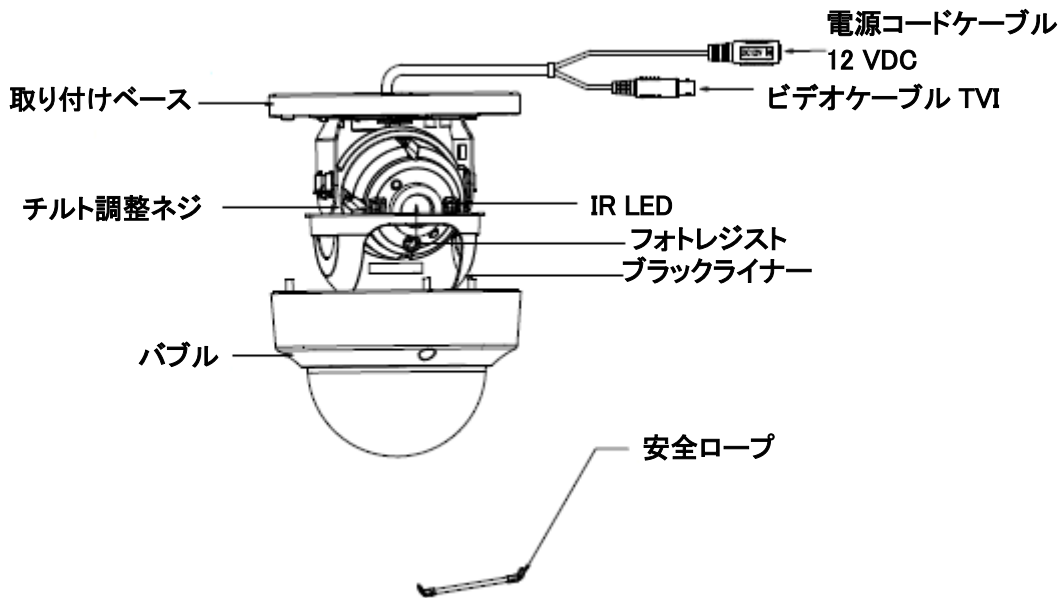


図 1-2 タイプⅢドームカメラの概要

第 2 章 インストール

始める前に:

- パッケージ内のデバイスが良好な状態で、すべてのアセンブリパーツが含まれていることを確認してください。
- インストール中にすべての関連機器の電源が切れていることを確認してください。
- インストール環境については、製品の仕様を確認してください。
- 損傷を避けるために電源装置が電源出力と適合しているかどうかを確認してください。
- 壁の強度がカメラの重さの 3 倍とマウントの妨げにならないようにしてください
- 壁がセメント壁の場合は、カメラを取り付ける前に拡張ネジを挿入する必要があります。壁が木製の壁の場合は、セルフタッピングネジを使用してカメラを固定できます。
- 製品が正常に機能しない場合は、販売店または最寄りのサービスセンターに連絡してください。修理やメンテナンスのためにカメラを分解しないでください。

2.1 タイプ I カメラとタイプ II カメラの天井への取り付け

始める前に:

ドームカメラには壁面取り付けと天井取り付けが適しています。このセクションでは、天井取り付けを例に取り上げます。また、壁取り付け用の基準として天井取り付けの手順を実行することもできます。

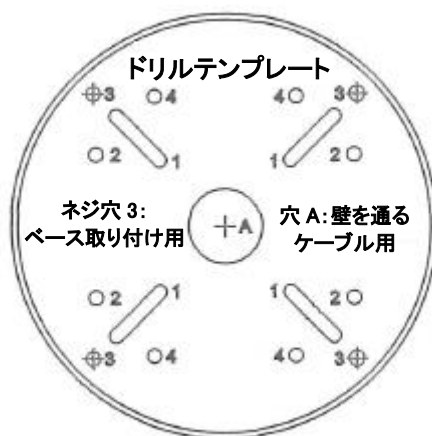
手順:

1. ドリルテンプレートを天井に貼り付けます。
2. 付属のドリルテンプレートに従ってネジ穴とケーブル穴(オプション)を天井にドリルします。

注意:

天井のコンセントを使用してケーブルを配線するときは、ケーブルの穴をドリルします。

タイプ I



タイプ II



図 2-1 ドリルテンプレート

3. ドームカメラのバブルのネジを緩めて、バブルとブラックライナーを取り外します。

4. タイプ I カメラのバックボックス/タイプ II カメラのベースプレートを取天井に取り付け、付属のネジで固定します。

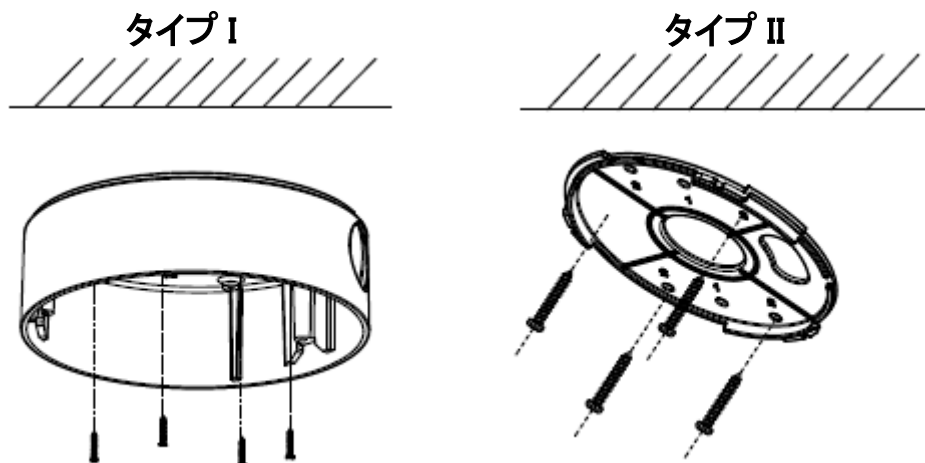


図 2-2 バックボックス/ベースプレートの取り付け

注意:

- 付属のスクリューパッケージには、タッピングねじと拡張ボルトが含まれています。
 - セメントの壁には、カメラを固定するために拡張ボルトが必要です。木製の壁には、タッピングねじが必要です。
5. ケーブルをケーブルの穴または側面の開口部に通します。
 6. カメラをバックボックス/ベースプレートに合わせ、ネジを締めてカメラをバックボックス/ベースプレートに固定します。

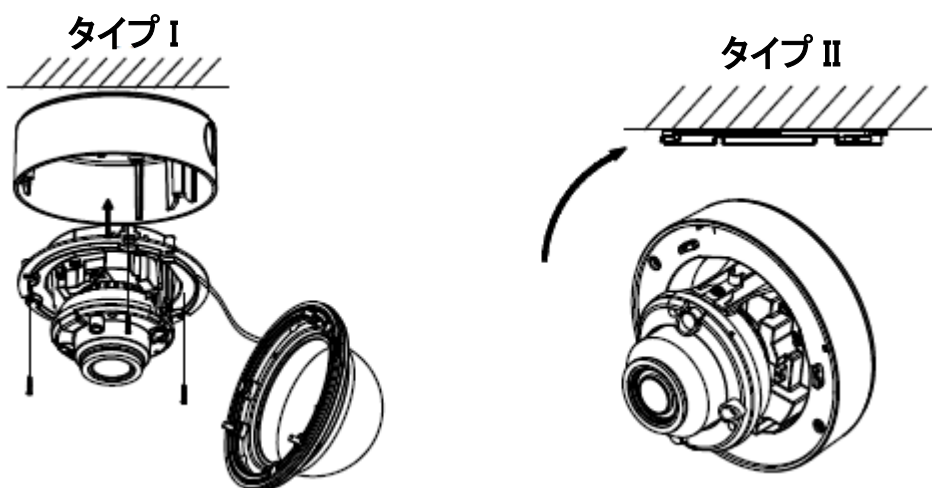


図 2-3 カメラを取天井に固定する

7. 電源コードやビデオケーブルなどの対応するケーブルを接続します。
8. カメラの電源を入れて、モニター上の画像が最適な角度から得られているかどうかを確認します。そうでない場合は、下の図に従ってカメラを調整し、最適な角度にします。

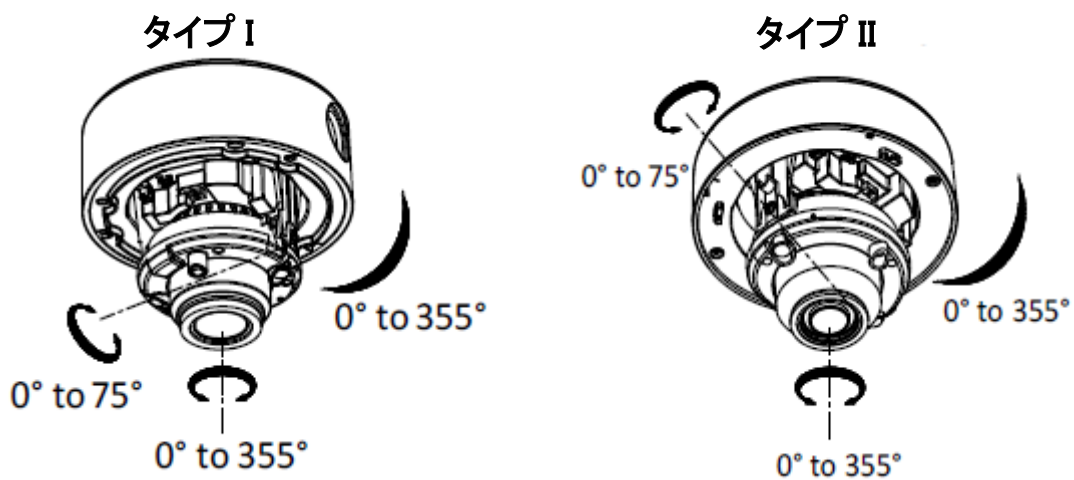


図 2-4 3 軸調整

9. ブラックライナーをカメラに戻し、ドームカメラのバブルにあるネジを締めて取り付けを完了します。

2.2 タイプⅢカメラの天井への取り付け

手順:

1. ドリルテンプレートを天井に貼り付けます。
2. ドリルテンプレートに従って、ネジ穴とケーブル穴(オプション)を天井にドリルします。

注意:

天井のコンセントを使用してケーブルを配線するときは、ケーブルの穴をドリルします。



図 2-5 ドリルテンプレート

3. 六角レンチ(付属)で止めねじをゆるめてバブルを取り除きます。

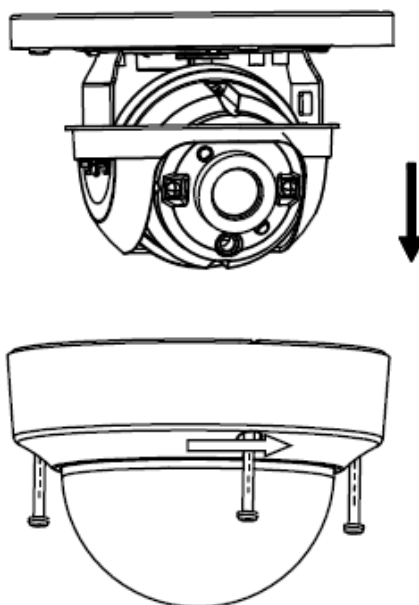


図 2-6 バブルを取り除く

4. 付属のネジで取り付けベースを天井に固定します。

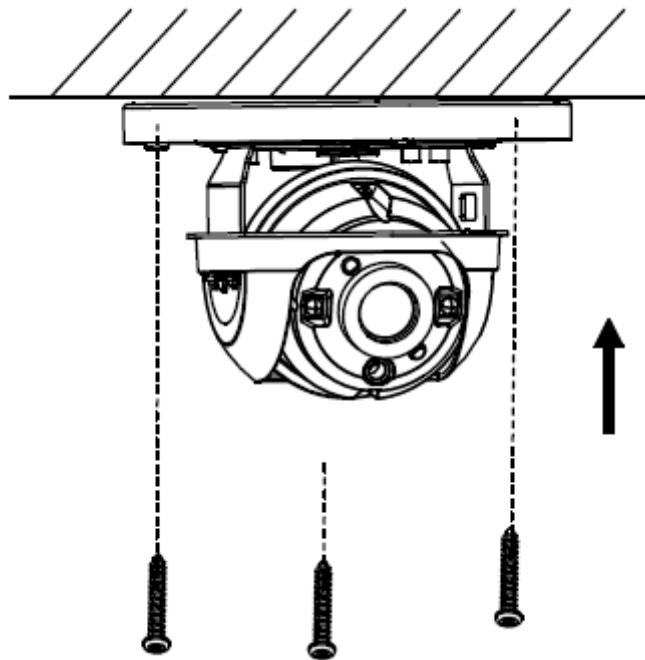


図 2-7 取り付けベースの固定

5. ケーブルをケーブルの穴または側面の開口部に通します。
6. 電源コードなどの対応するケーブルとネットワークケーブルを接続します。
7. カメラの電源を入れて、モニター上の画像が最適な角度から得られているかどうかを確認します。そうでない場合は、下の図に従ってカメラを調整し、最適な角度にします。

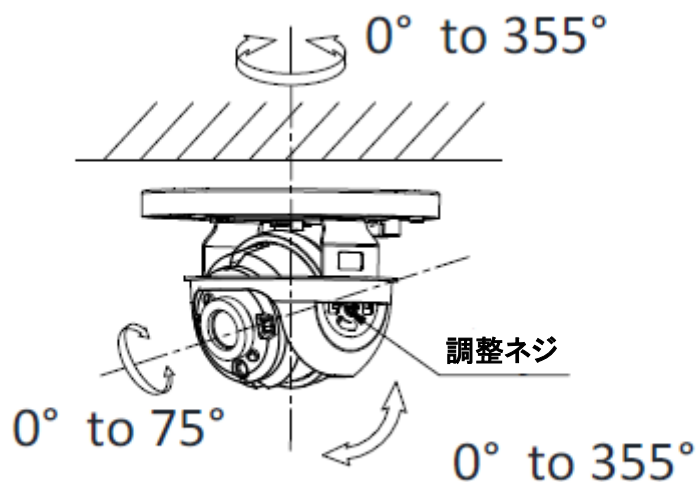


図 2-8 タイプ1カメラの2軸調整

- 1) チルト調整ネジをゆるめて、チルト位置(0° ~ 75°)を調整します。

- 2) ブラックライナーを持ち、パン位置(0° ~355°)を調整します。
- 3) カメラ本体を持ち回転位置(0° ~355°)を調整します。
8. バブルを元に戻し、ネジを締めます。

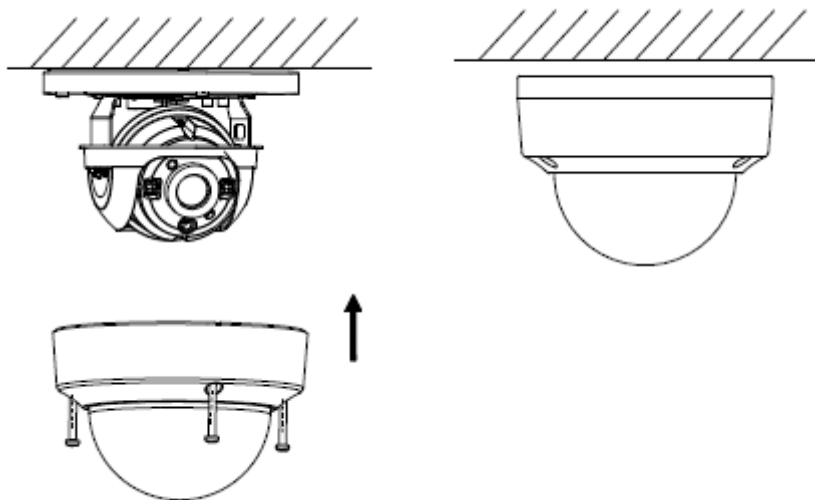


図 2-9 バブル再インストール

2.3 タイプ I カメラとタイプ II カメラの壁取り付け

始める前に:

壁掛け金具を別途購入する必要があります。

手順:

1. ブラケットの穴に合わせて壁に 4 つのネジ穴を開けます。
2. ブラケットの 4 つのねじ穴と壁の拡張ネジを合わせて、ブラケットを壁に取り付けます。
3. ブラケットを 4 本の六角ナットとワッシャーで固定します。

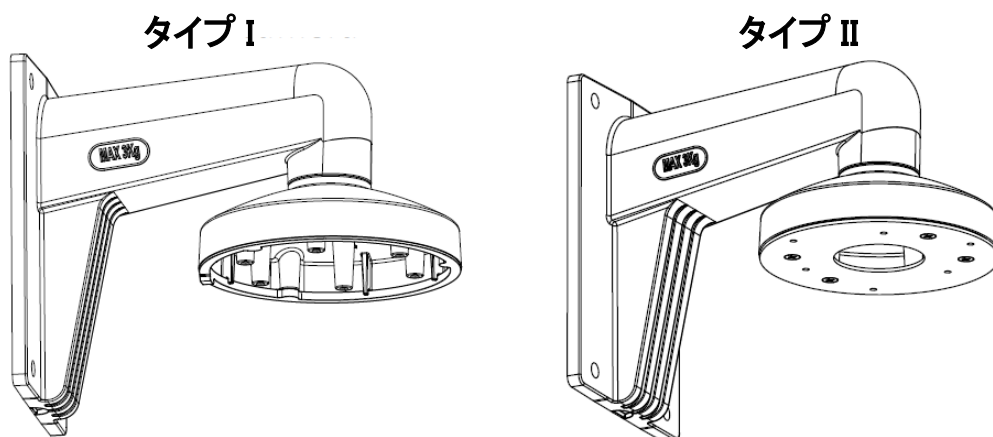


図 2-10 壁面取り付けブラケットの取り付け

4. ドームカメラのバブルとブラックライナーを取り除くために、「2.1 タイプ I カメラとタイプ II カメラの天井取り付け」のステップ 3 を参照してください。
5. ドームカメラの背面ボックス/ベースプレートを取り付け、付属のネジで固定します。

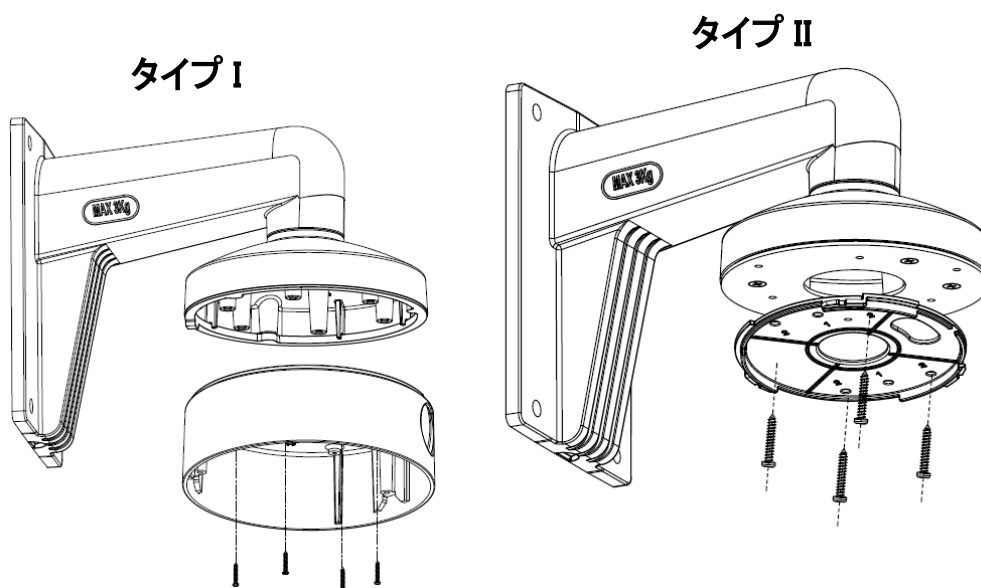


図 2-11 ブラケットにバックボックス/ベースプレートを取り付ける

HD-TVI 2MP フルハイビジョン 超低照度 赤外線搭載 ドームカメラ
(ワンケーブルタイプ) ユーザーマニュアル

6. ケーブルをブラケットに通します。
7. 「2.1 タイプ I カメラとタイプ II カメラの天井への取り付け」の手順 6~9 を繰り返して、取り付けを完了します。

2.4 インシーリング取り付け

始める前に:

インシーリング取り付けの金具を別途購入する必要があります。

手順:

1. 壁にインシーリング取り付けブラケットを取り付け、壁にネジ穴とケーブル穴を付けます。
2. ネジ穴とケーブル穴をドリルします。
3. 2つのネジ穴に合わせて天井の取り付けブラケットにボルトをねじ込み、トグルをボルトに取り付けます。
4. 天井にある2本のボルトを押して、トグルが天井をしっかりと保持するまでボルトを回します。

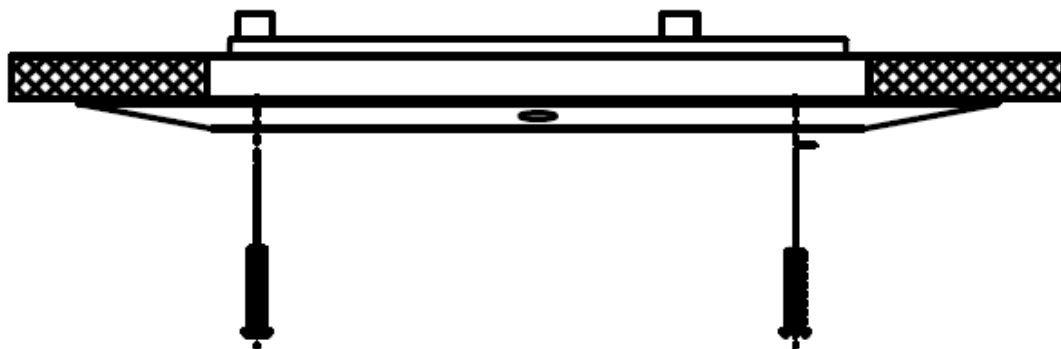


図 2-12 インシーリング取り付け用ブラケットの取り付け

5. ケーブルをケーブル穴に通します。
6. 付属のネジを使用して、カメラを天井取り付けブラケットに固定します。

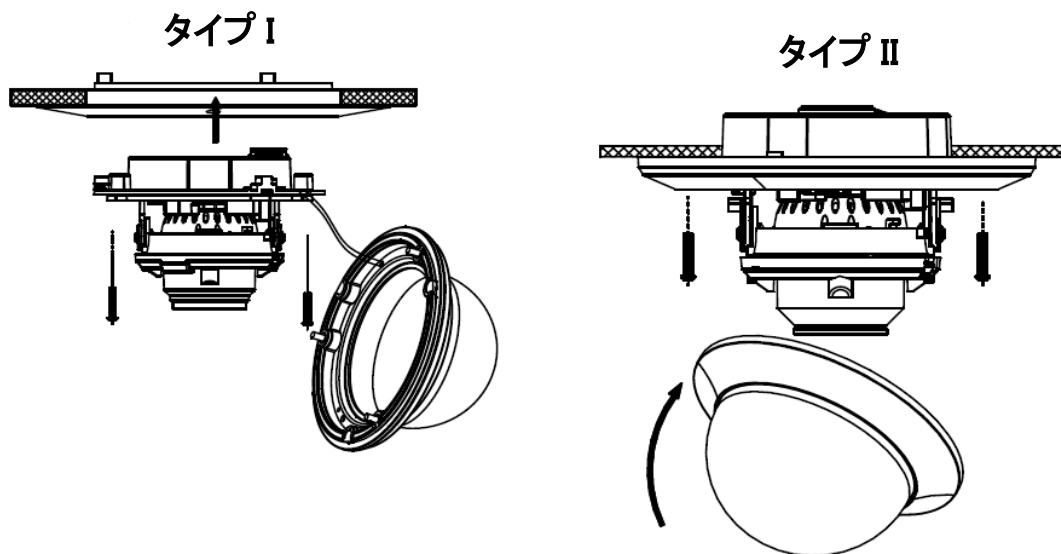


図 2-13 カメラをマウントに固定する

7. 電源コードやビデオケーブルなどの対応するケーブルを接続します。

8. 「2.1 タイプ I カメラとタイプ II カメラのシーリング取り付け」の手順 8～9 を繰り返して、取り付けを完了します。

2.5 タイプ I カメラの傾いたベースによる取り付け

手順:

1. 傾斜したベースを壁に取り付け、壁面にネジ穴とケーブル穴をマークします。
2. ネジ穴とケーブル穴をドリルします。
3. 図 2-14 に示すように、付属のネジを使用して傾斜ベースを天井に取り付けます。

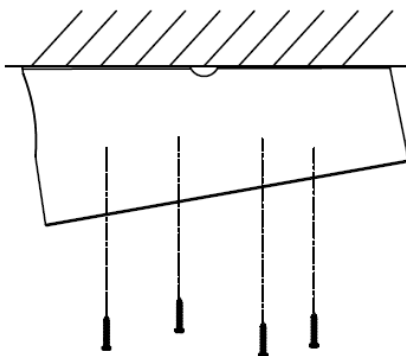


図 2-14 傾斜ベースの固定

4. ケーブルの穴、または傾斜したベースの側面の開口部を通してケーブルを配線します。
5. 付属のネジでカメラを傾斜ベースに固定します。

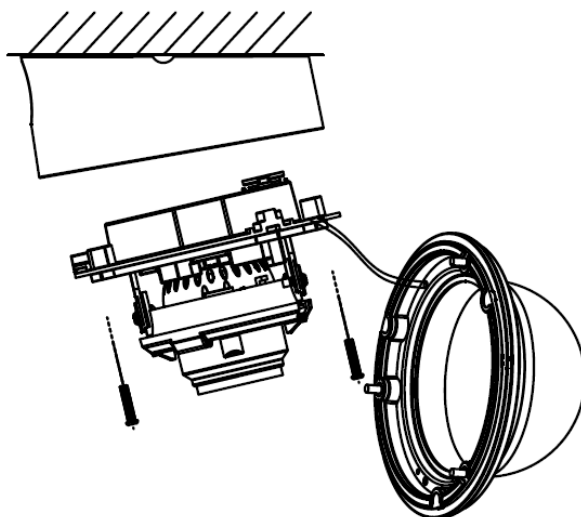



図 2-15 カメラをベースに固定する

6. 「2.1 タイプ I カメラとタイプ II カメラのシーリング取り付け」の手順7～9を繰り返して、取り付けを完了します。

第 3 章 メニュー説明

目的:

PTZ インターフェースのボタン  をクリックするか、プリセット No.95 を呼び出してメニューを呼び出します。

手順:

1. カメラを TVI DVR と接続し、モニターを図 3-1 のように接続します。

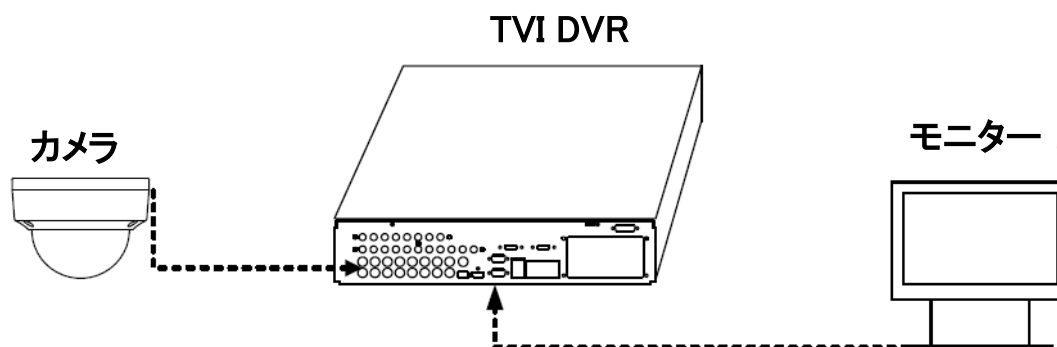



図 3-1 接続

2. アナログカメラ、TVI DVR、およびモニターの電源を入れて、モニター上の画像を表示します。
3. PTZ コントロールをクリックして、PTZ コントロールインターフェイスに入ります。
4.  ボタンを押すか、プリセット番号 95 を呼び出してカメラメニューを呼び出します。

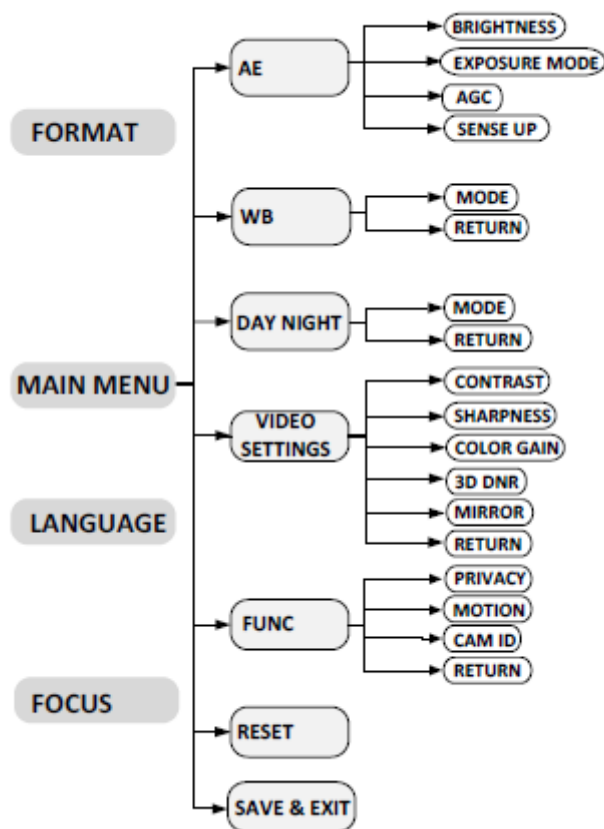


図 3-2 メインメニューの概要

5. 方向矢印をクリックしてカメラをコントロールします。
 - 1) 上/下方向ボタンをクリックして項目を選択します。
 - 2) **Iris +**をクリックして選択を確定します。
 - 3) 左/右方向ボタンをクリックして、選択した項目の値を調整します。

3.1 フォーマット

PAL または NTSC を選択できます。

PAL (Phase Alternating Lines)

PAL は、ほとんどの国の放送テレビシステムで使用されるアナログテレビ用のカラーエンコーディングシステムです。

NTSC: (National Television System Committee)

NTSC は、北米、南米、ミャンマー、韓国などのほとんどの地域で使用されているアナログテレビシステムです。

3.2 言語

英語と中国語をサポートします。

3.3 フォーカス

カーソルを FOCUS に移動し、Iris +を押してサブメニューに入ります。フォーカスを調整するには、FOCUS+、FOCUS-、ZOOM+、ZOOM-をクリックします。

3.4 メインメニュー

3.4.1 AE (自動露出)

Auto Exposure は明るさに関連するパラメータを表し、BRIGHTNESS、EXPOSURE MODE、AGC、および SENSE UP で調整できます。

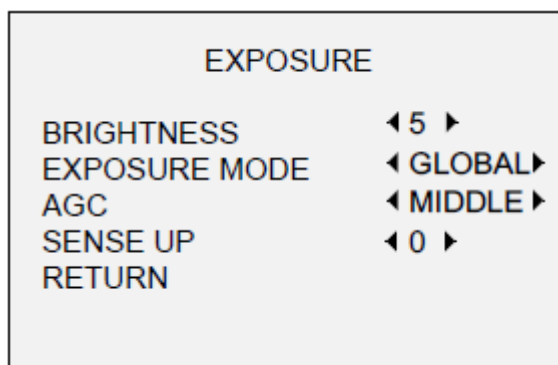


図 3-3 AE

BRIGHTNESS

Brightness とは、画像の明るさを指します。

明るさの値を 1 から 10 に設定して、画像を暗くしたり明るくしたりすることができます。値が大きいほど、画像が明るくなります。

EXPOSURE MODE

EXPOSURE MODE を GLOBAL、BLC、WDR に設定できます。

- **GLOBAL**

GLOBAL は、照明の分布、変動、および非標準処理を調整する通常の露出モードを指します。

- **BLC(バックライト補償)**

BLC(バックライト補正)は、前面のオブジェクトに光を補正して明瞭にしますが、光が強いバックグラウンドが過度に露出することがあります。

露出モードとして BLC を選択すると、BLC レベルを 0~8 に調整できます。

- **WDR(ワイドダイナミックレンジ)**

ワイドダイナミックレンジは、バックライト状況下でも鮮明な画像を提供します。WDR は画像全体の明るさをバランスさせ、鮮明な画像を詳細に表示します。

AGC(自動ゲインコントロール)

明るい環境では画像の明瞭さを最適化します。GAIN レベルは HIGH、MIDDLE、または LOW に設定できます。OFF を選択すると、GAIN 機能が無効になります。

注意:

GAIN が ON のとき、ノイズが増幅されます。

SENSE UP

Sense up は信号フレームの露出を増やします。これにより、カメラは光に対してより敏感になり、低い Lux 条件でも画像を生成することができます。

さまざまな照明条件に応じて、SENS-UP を OFF または AUTO に設定することができます。

SENS-UP 機能は、光の状態に応じて自動的に x2、x4、x6、x8、x10、x12、x14、x16 に調整されません。

3.4.2 WB(ホワイトバランス)

ホワイトバランスは、カメラのホワイトレンディング機能で、環境に応じて色温度を調整することです。それはイメージの非現実的な色のキャストを取り除くことができます。WB モードを ATW または MWB に設定できます。

ATW(オートトラッキングホワイトバランス)

ATW モードでは、シーンの照明の色温度に応じてホワイトバランスが自動的に調整されます。

MWB(マニュアルホワイトバランス)

R GAIN / B GAIN の値を 1~255 に設定して、画像の赤/青の色合いを調整することができます。

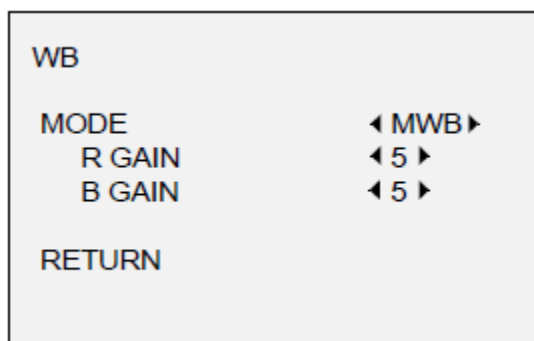


図 3-4 MWB モード

3.4.3 デイナイト

COLOUR、BW(白黒)、および AUTO は、DAY および NIGHT スイッチで選択できます。

COLOUR

画像は常に昼間モードで色付けされています。

B/W

画像は常に白黒ですが、暗い場所では赤外線 LED が点灯します。

AUTO

INFRARED を ON/OFF し、このメニューで SMART IR の値を設定することができます。

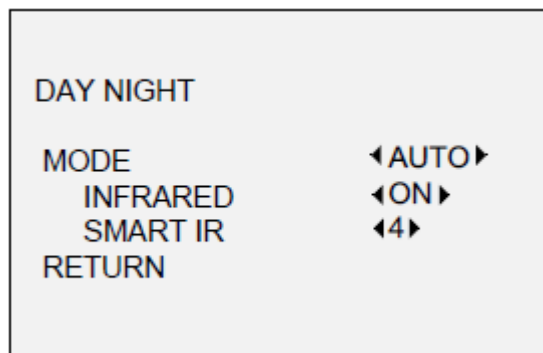


図 3-5 デイナイト

- INFRARED

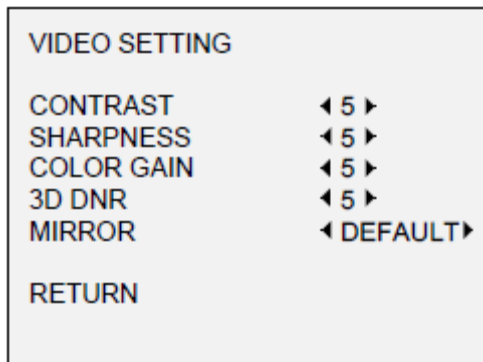
さまざまな状況の要件を満たすために IR LED をオン/することができます。

- SMART IR

スマート IR 機能は、光を最も適した強度に調整し、画像が過度に露出するのを防ぎます。スマート IR 値は 1 から 8 まで調整できます。値が大きいほど、より顕著な効果が得られます。

3.4.4 VIDEO SETTING

カーソルを **VIDEO SETTING** に移動し、**Iris +** をクリックしてサブメニューに入ります。 **CONTRAST** (コントラスト)、 **SHARPNESS** (シャープネス)、 **COLOR GAIN** (カラーゲイン)、 **3D DNR**、および **MIRROR** (ミラー) は調整可能です。



CONTRAST

この機能により、画像の各部分間の色や光の差異が改善されます。 **CONTRAST** 値を 1 から 10 に設定できます。

SHARPNESS

シャープネスは、イメージングシステムが再現できる細部の量を決定します。 **SHARPNESS** の値は 1～10 に設定できます。

COLOR GAIN

この機能を調整して、色の彩度を変更します。値の範囲は 1～10 です。

3D DNR (デジタルノイズリダクション)

3D DNR 機能は、特に暗い環境で動画を撮影し、より正確で鮮明な画質を提供する場合に、ノイズ効果を低減することができます。 **DNR** 値は 1～10 の間で設定できます。

MIRROR

DEFAULT、**H**、**V**、および **HV** は、ミラーに選択できます。

DEFAULT: ミラー機能は無効です。

H: 画像が水平方向に 180° 反転します。

V: 画像が垂直に 180° 反転します。

HV: 画像は水平方向と垂直方向に 180 度反転します。

3.4.5 FUNC(機能)

FUNC サブメニューでは、カメラの **プライバシーマスク**、**モーション検出**、**カメラ ID** を設定できます。

PRIVACY

プライバシーマスクを使用すると、表示または記録したくない特定の領域をカバーできます。最大 4 つのプライバシーエリアを設定できます。

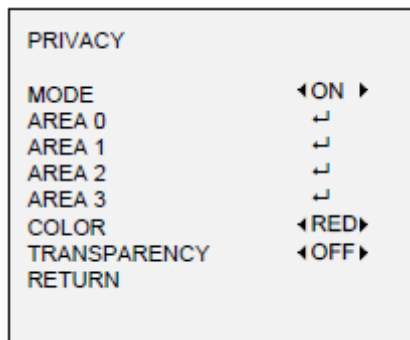


図 3-7 プライバシー

プライベートエリアを選択します。DISPLAY ステータスを ON に設定します。
上/下/左/右ボタンをクリックして、エリアの位置とサイズを定義します。

MOTION

ユーザ定義の動き検出監視エリアでは、移動物体が検出され、アラームがトリガされます。最大 4 つのモーション検出エリアを設定できます。

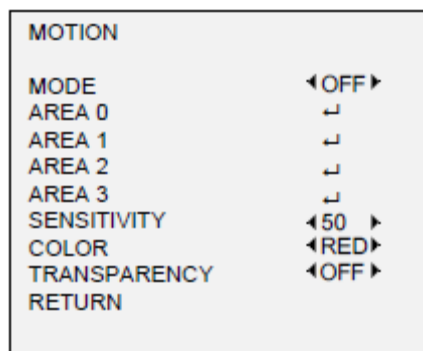


図 3-8 モーション

モーション領域を選択します。DISPLAY ステータスを ON に設定します。上/下/左/右ボタンをクリックして、エリアの位置とサイズを定義します。SENSITIVITY を 0~100 に設定します。

CAMERA ID

このセクションのカメラ ID を編集します。

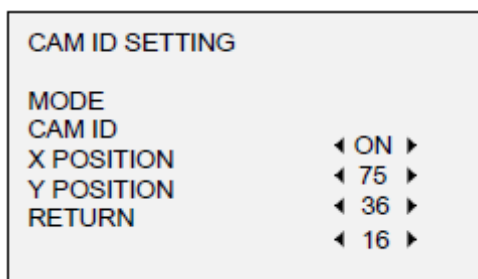


図 3-9 CAM ID の設定

MODE を ON に設定します。左/右ボタンをクリックして、カメラ ID と位置を選択します。

3.4.6 リセット

すべての設定をデフォルトにリセットします。

3.4.7 SAVE & EXIT

SAVE&EXIT にカーソルを移動し、Iris +をクリックして設定を保存し、メニューを終了します。